

【お役立ち情報】

画面データ転送時、セキュリティを設けて誤送信や画面データ流出を防止！

画面データ転送時に付加機能を設けることができます！

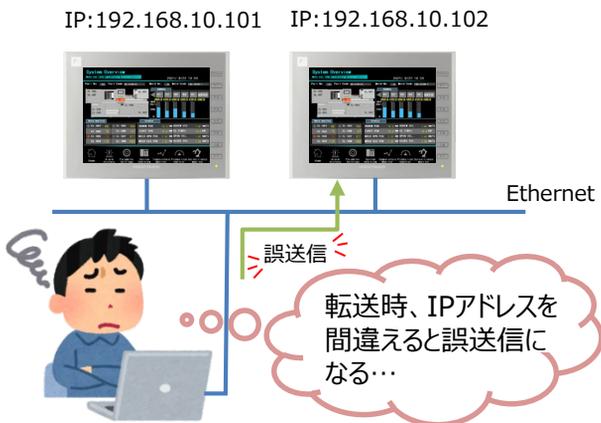
1. 画面データ転送 特定のMACアドレスの本体にのみ転送（書込）
2. 画面データ転送（読込/書込）をパスワードで制御
3. 画面データ アップロード禁止
4. 画面データ 一括転送（Ethernet）

1. 画面データ転送 特定のMACアドレスの本体にのみ転送（書込）

* Ver. 6.0.39.0～

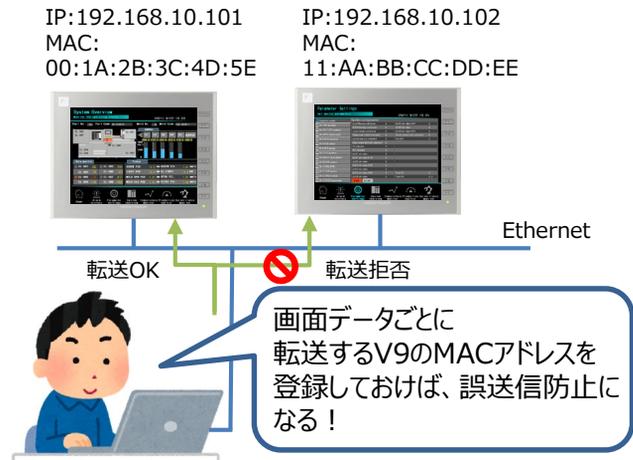
<従来>

どの本体にも画面データが転送できてしまう…



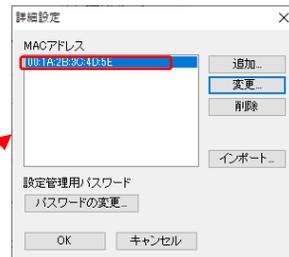
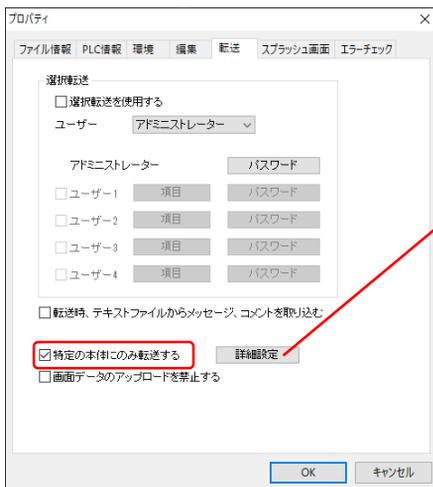
<特定の本体のみ転送>

登録したMACアドレスにのみ転送を許可します！

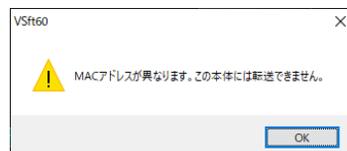


必要な設定：

[ファイル] → [プロパティ] → [転送] タブ → [特定の本体にのみ転送する] にチェックし、転送したい本体のMACアドレスを登録



許可していないMACアドレスの本体に転送しようとすると、V-SFT上に以下のエラー表示が出る！

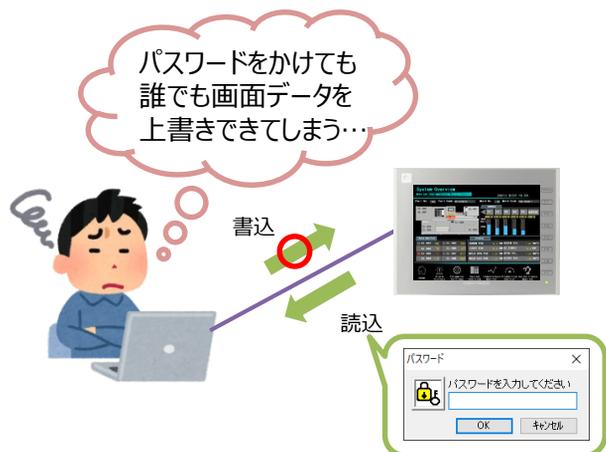


2. 画面データ転送（読込/書込）をパスワードで制御

* Ver. 6.0.39.0～

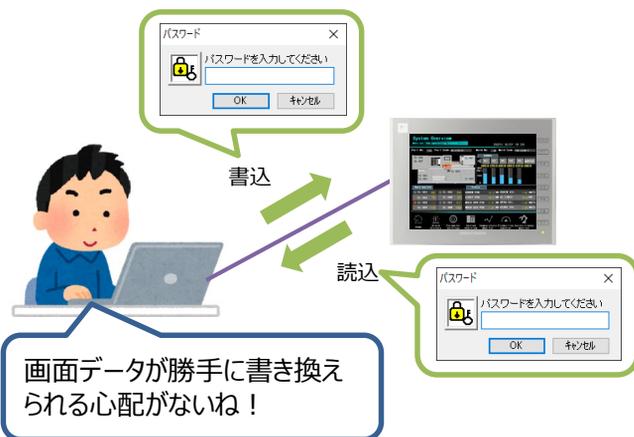
＜従来＞

V-SFTで画面データを開く時のパスワード制御はできるが、書込時のパスワード制御ができなかった…



＜画面データ転送をパスワード制御＞

画面データ転送（読込/書込）用のパスワードを設定できる！

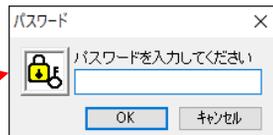


必要な設定：

[ファイル] → [プロパティ] → [ファイル情報] タブ → [画面データ送受信] にチェックし、パスワードを設定（最大半角英数16文字）

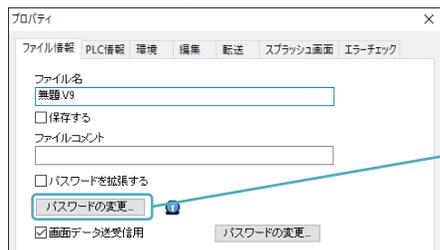


画面データ読込/書込時のパスワード

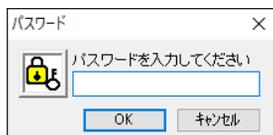


(補足)

水色枠のパスワード設定 = 画面データをV-SFTで開く時のパスワードも合わせて使用できます。



画面データをV-SFTで開く時のパスワード



昔からあるパスワード設定（水色枠）と合わせて使用すれば

- ・読込/書込不可、ファイルオープン不可
- ・バックアップデータの閲覧のみ（読込/書込不可）
- ・ファイルオープン可、読込/書込可

に分けて作業できる！

3. 画面データ アップロード禁止

* V9 : Ver. 6.1.3.0~

＜従来＞
パスワードを設定していないと、画面データが流出
してしまう危険があった…

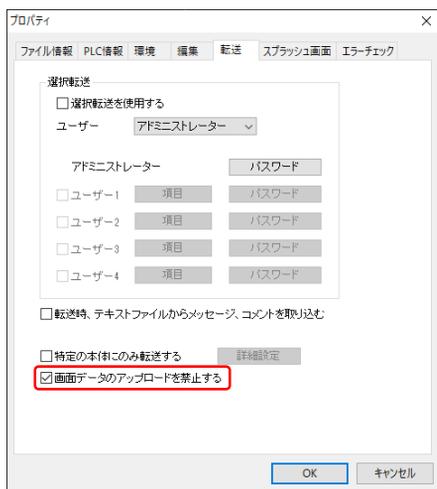


＜画面データ アップロード禁止＞
本体からの画面データアップロード（読込）を禁止
できる！



必要な設定：

[ファイル] → [プロパティ] → [転送] タブ → [画面データのアップロードを禁止する] にチェック



万が一パスワードが流出しても
画面データ資産を守れるね！

💡 アップロード禁止の画面データが転送されると、ローカル画面に「アップロード禁止」と表示されます。

例) V9

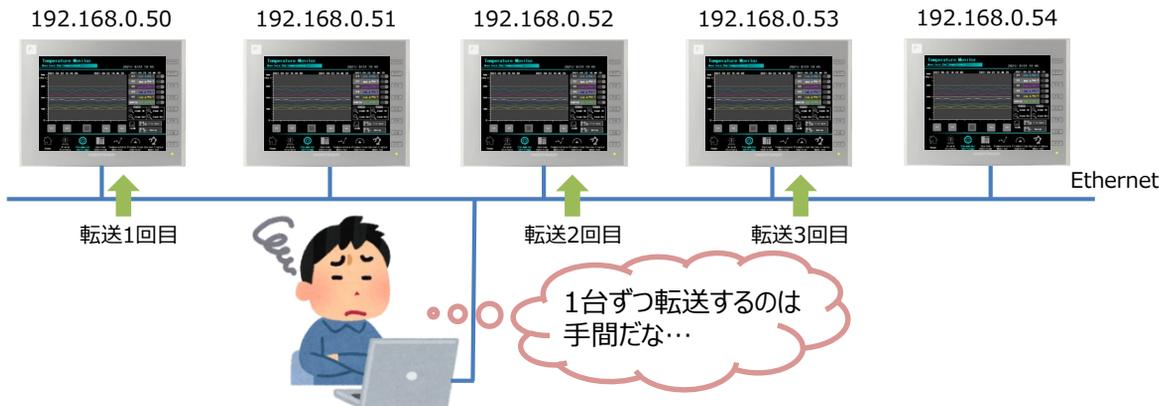


4. 画面データ 一括転送 (Ethernet)

* V9 : Ver. 6.0.28.0~

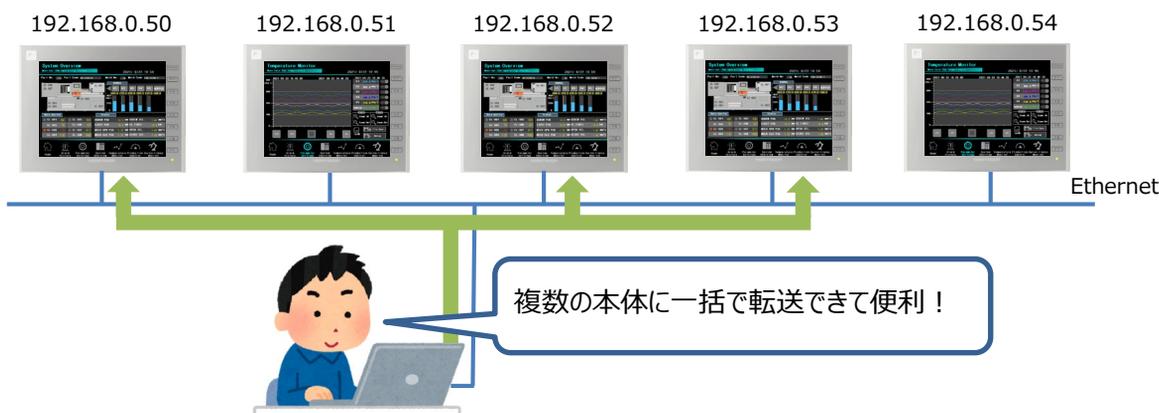
<従来>

画面データ転送時、1台ずつ転送する必要があった…



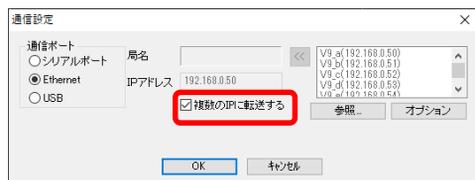
<画面データ 一括転送>

転送する本体のIPアドレスを複数選択して、画面データを一括で転送できる！

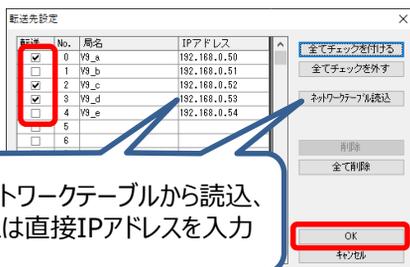


必要な設定：

1. [転送] → [書込] → [通信設定] → [複数のIPに転送する] にチェック



2. [PC->] をクリックして、転送するIPアドレスにチェックし [OK]をクリック



ネットワークテーブルから読み、または直接IPアドレスを入力



転送する画面データが同一の場合一括で転送できて便利だね！

(注意)

画面データの一括転送を行う場合は[システム設定]→[Ethernet通信]→[自局IPアドレス]で、[IP設定を行う]のチェックは外しておきます。V9のIPアドレスは、V9本体のローカル画面で設定します。